

避妊手術はどうやってやるの？

1.手術前の診察



手術する動物が健康かどうかチェックします。



手術当日に問診、視診、触診、聴診等で健康体であるかチェックします。

当たり前のことですが健康な状態で来院した動物は、健康な状態でお返ししなければいけません。

もし問題が見つかった場合、手術を延期したり治療をお勧めする場合があります。

問題があったり、年齢がある程度いっている場合などは手術前の検査の必要性をお話する場合があります。

2.手術の前準備



実際の手術の1～2時間前に鎮痛剤の注射。



その後、麻酔を導入するための鎮静等の注射。



手術台の保温を開始。



吸入麻酔薬をマスクにて吸入させ深い麻酔へと導入。



麻酔中の血液循環を維持し、腎臓肝臓などへの負担を軽減するため静脈点滴を開始。



マスクを外し気管内チューブを挿入し吸入麻酔を維持コントロール。



麻酔監視モニターにて心拍数、呼吸数、酸素飽和濃度、吸入麻酔薬濃度、呼気中二酸化炭素濃度等を監視します。

3.手術準備



動物を仰向けに保定し、腹部の被毛を刈ります。



殺菌消毒薬で手術部位を丁寧に殺菌消毒します。



滅菌した布を手術部に被せ、準備終了です。

4 避妊手術



臍（へそ）下の皮膚を約3cm程切開



白線の腹膜を切開し、腹腔に達する。



子宮をつまみ、卵巣を体外部に引き出し左右の卵巣を切除する。



腹膜、皮下、皮膚の順番で縫合し、縫合部消毒し手術を終える。



吸入麻酔薬を止め、酸素のみの吸入を続ける。



いろんな反射が出てきて喉頭や顎の反射がでたところで気管チューブを抜管する。



抜管後、動物の呼吸等が安定しているか、嘔吐なども催さないか注意して観察する。



頭部が上がる位に麻酔が覚めてきたら静脈点滴を終了する。

5.術後



退院後は念のために抗生剤を数日処方します。食事に混ぜたりして与えます。



数日は散歩などの運動は制限します。



手術から10日程で抜糸して終了です。